

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成22年度採択）

事後評価結果

番号	研究名	研究代表者	評価
22-3	非破壊検査のための非接触音響探査法についての研究開発	桐蔭横浜大学 教授 杉本 恒美	B

<研究の概要> ※成果報告レポートより引用

打音法では点検作業に足場や高所作業車が必要となるような場所、例えば、トンネルや橋梁における打音法の代替となるような手法を実現するため、強い音響振動を発生する長距離音響発生装置（LRAD）と高感度のスキャニング振動計（SLDV）を組み合わせた非破壊検査のための遠距離非接触音響探査法を研究目的として、その基本特性および適用条件等を明らかにするためにコンクリート供試体および実構造物での探査実験を実施する研究開発。

<事後評価結果>

実用化に向けて引き続き開発を進める必要があるものの、コンクリート構造物のうき等に対する非接触音響探査法の適用性について開発装置による実構造物等の計測を通じて確認できたことの意義は大きく、研究目的は概ね達成され、研究成果があったと評価する。

<参考意見>

1. 打音に代わる音響探査法の開発を目指したもので、将来的な実用化が見込まれる研究である。当初の研究目的は概ね達成され、十分な研究成果が得られている。
2. 実用化に近い成果が得られていると考えられるため、さらなる精度向上に向けて引き続き実構造物でのデータを蓄積すると共に、フィードバックによる改良を継続して頂きたい。
3. 外的環境変化に対するロバスト性や可搬性等にも力点を置き、実用化に向けた研究を引き続き推進されることを期待する。